

第74期 中間報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで

輝く未来の創造「メーカー商社」として
世界の産業界に貢献します。



事業紹介

商品

圧力発生機

ブランジャーポンプ

高圧水の発生源となるポンプ
高圧水洗浄装置の動力源として
利用



応用機器・システム商品

ロッキーワッシャー

多用途の高圧水洗浄機



金属接合機(TOX)

異種金属板を
接合する機械



付属機器・部品

オイルシール類

高圧の水・油を密封し
外に漏れないようにする
外部からダストが
侵入するのを防ぐ



関連技術商品

三方ピストン弁 (ロッキーバルブ)

高圧のガス等の流量を
調整する弁
主にタイヤメーカーの
加硫機に使用



製品

応用機器・システム製品

フラックス精密洗浄装置

半導体新製品(CSP、
BGA等)の製造工程に
使用されるフラックス
を除去し、純水にて精密
仕上げ洗浄を行う装置



付属機器・部品

クリーンルーム対応ロータリージョイント

半導体業界で、CMP設
備などに水や研磨剤な
どを供給する回転継手



NC高圧洗浄機 (ジェットフレックス)

自動車業界向けの、高
圧水を利用した部品の
深穴の金属バリ取装置



工作機械用ロータリージョイント

マシニングセンタ
でクーラント液を
スピンドルから噴
射する用途に使用
する回転継手

営業区分

リックスはお客様のニーズに
迅速・的確に対応できる顧客
密着型の「メーカー商社」と
いう業態です。

商社機能

鉄鋼

自動車

電子・半導体

ゴム・タイヤ

高機能材

環境

紙パルプ

その他

メーカー機能

ごあいさつ

株主の皆様には、平素よりご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。
また、この度の相次ぐ自然災害により被災された皆様には、心よりのお見舞いと
1日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて当社第74期中間期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)における
業績のとりまとめを終えましたので、ここに第74期中間報告書をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い
申し上げます。

代表取締役社長 安井 卓



課題解決型の「メーカー商社として」世界の産業界に貢献します。

Q 当中間期の営業概況について教えてください。

A 前年同期比で、売上高は7.5%増の213億35百
万円、営業利益は3.8%増の12億38百万円、経常
利益は0.7%減の12億98百万円、親会社株主に帰属する
四半期純利益は2.7%減の8億44百万円となりました。

当中間期の世界経済は、米中間の通商問題長期化や
中国の景気減速、英国の欧州連合離脱問題によって、
景気の先行きに不透明感が増えています。一方、日本
経済は、外需の不振に伴う生産の停滞が、堅調であった
雇用に影響をみせるものの、個人消費や設備投資は底堅く
推移し、緩やかな回復基調が続きました。

このような経済環境の中、当社グループでは昨年度に
引き続き、中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2020」に基づ
く施策に取り組んでまいりました。

Q 当中間期のセグメント別事業の概況について
教えてください。

A セグメント毎で一進一退の動きはあったものの、
鉄鋼業界向け・自動車業界向けは増収を確保し
ました。

鉄鋼業界向けでは、鋼管試験材採取自動化設備や高炉
工程設備工事、厚板工程向け圧延ロール、パイプ用刃物の
受注が好調で売上増に貢献しました。この結果、売上高は
70億36百万円(前年同期比11.4%増)となりました。

自動車業界向けでは、自動車メーカー向けでクーラント
供給装置を受注、自動車部品メーカー向けで、洗浄装置や
乾燥機、部品加工の引合いが強かったほか、工作機械業界
向けの自社環境製品やポンプ類が好調で売上増に寄与し
ました。この結果、売上高は54億81百万円(前年同期比
8.0%増)となりました。

電子・半導体業界向けでは、自社微粒化装置や接合設備、メンテナンスサービスの引合いが強かったほか、シール類の販売が伸びましたが、自社継手製品やフィルターなど消耗品の受注が落ち込み、前年同期の実績を下回る推移となりました。この結果、売上高は19億70百万円(前年同期比3.9%減)となりました。

ゴム・タイヤ業界向けでは、海外タイヤメーカー向けにショットブラスト装置を受注するなどしましたが、断熱板やポンプ類、タイヤ加硫機用バルブの受注が大幅に落ち込み、前年同期の実績を下回る推移となりました。この結果、売上高は14億23百万円(前年同期比6.0%減)となりました。

高機能材業界向けでは、化学メーカー向けに変電所水処理設備や、プラントエンジニアリング向けに破碎設備を受注したほか、ポンプ類や逆浸透膜の販売が伸び、前年同期の実績を上回る推移となりました。この結果、売上高は12億57百万円(前年同期比65.5%増)となりました。

環境業界向けでは、発電所向けの集塵機を受注したほか、

ジャバラやポンプ類などの販売が伸びましたが、大型案件の受注に乏しく、前年同期の実績を下回る推移となりました。この結果、売上高は6億82百万円(前年同期比29.6%減)となりました。

紙パルプ業界向けでは、製紙会社向けに調薬設備や洗浄装置を受注したほか、ポンプ類やシール類の販売が持ち直し、売上増に寄与しました。この結果、売上高は5億53百万円(前年同期比48.7%増)となりました。

Q 下半期の展望などについてお聞かせください。

A 当中間期の売上高が当初の見込みを上回っている状況であることから、通期業績予想についても売上高を上方修正いたしました。

当社グループでは現在、2020年度(2021年3月期)を最終年度とする中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2020」を推進しております(※詳細は「第74期中間報告書」P7ご参照)。

当期はその2年目にあたりますが、この中間期の売上高が当初の見込みを上回っている状況であることから、このたび当社では、通期業績予想についても売上高を上方修正いたしました。

一方、利益については、自社製品である工作機械用回転継手の販売減少による利益減があり、売上増加に伴う利益の増加を打ち消していることから、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益については、当初の見込みから変更いたしません。通期の連結業績見通しとしては、売上高428億円(前年同期比1.6%増)、営業利益27億円(前年同期比5.6%減)、経常利益28億50百万円(同5.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益19億50百万円(同7.9%減)を計画しております。

当社グループとしましては、顧客の課題解決・高付加価値提案営業に尽力し、中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2020」に掲げるビジョンの具現化と経営目標の達成に向けて邁進していく所存です。

Q 株主還元状況など株主様へのメッセージをお願いします。

A 1株当たり30円の間配当を実施させていただきました。

当社は創業以来一貫して、株主の皆様への利益還元を重要な課題の一つと捉えて事業経営にあたっております。

当中間期末では1株当たり30円の間配当を実施させていただきました。なお当期末では1株当たり30円の配当を予定し、これにより年間配当金は1株当たり60円となる見込みです。

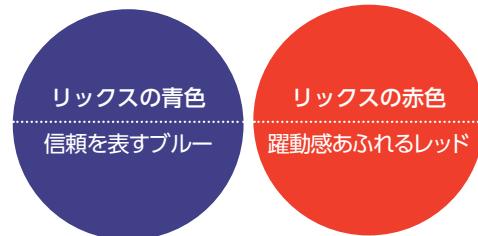
株主の皆様には、当社グループの企業価値をご理解いただくとともに、今後の発展にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Corporate Identity

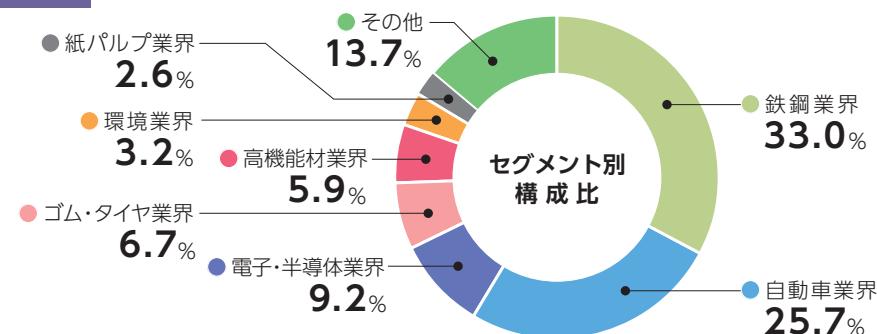
培われた伝統のもとに、さらに未来への飛躍を図るというイメージを表現しています。



- R** 自社ブランド「ROCKY」の頭文字
- I** INDUSTRY(工業/産業)の頭文字
- X** 無限の可能性と将来性



セグメント別構成比



連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	前期末 (2019年3月31日現在)	当第2四半期末 (2019年9月30日現在)	科目	前期末 (2019年3月31日現在)	当第2四半期末 (2019年9月30日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	23,485	23,468	流動負債	13,547	12,882
固定資産	6,800	6,650	固定負債	1,350	1,334
有形固定資産	3,097	3,090	負債合計	14,898	14,216
無形固定資産	118	113	純資産の部		
投資その他の資産	3,585	3,447	株主資本	14,536	15,096
資産合計	30,286	30,119	資本金	827	827
			資本剰余金	1,057	1,057
			利益剰余金	13,059	13,618
			自己株式	△407	△407
			その他の包括利益累計額	631	500
			非支配株主持分	219	306
			純資産合計	15,387	15,902
			負債・純資産合計	30,286	30,119

連結損益計算書 (単位:百万円)

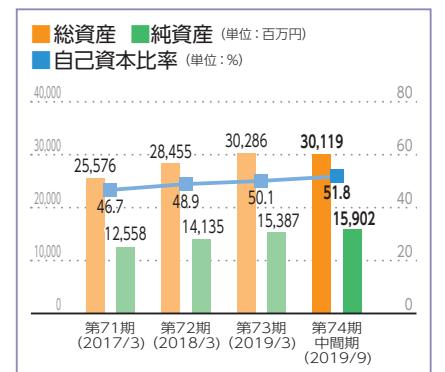
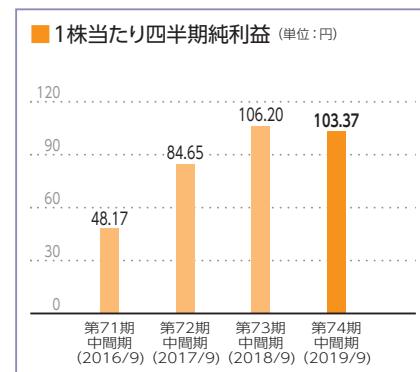
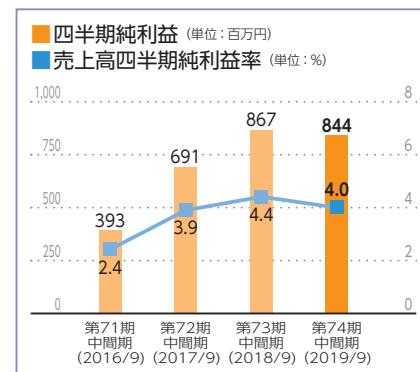
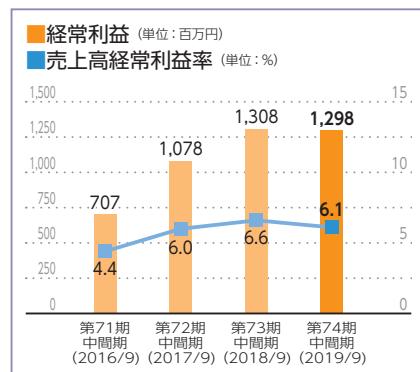
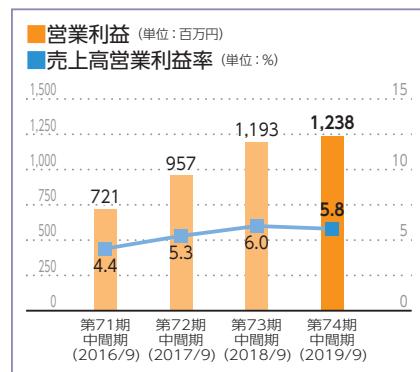
科目	前第2四半期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	当第2四半期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
売上高	19,847	21,335
売上原価	15,403	16,720
売上総利益	4,444	4,614
販売費及び一般管理費	3,250	3,375
営業利益	1,193	1,238
営業外収益	120	84
営業外費用	5	25
経常利益	1,308	1,298
特別利益	2	3
特別損失	3	16
税金等調整前四半期純利益	1,307	1,286
法人税等	428	426
四半期純利益	879	859
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	867	844

連結包括利益計算書 (単位:百万円)

科目	前第2四半期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	当第2四半期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
四半期純利益	879	859
その他の包括利益	△112	△144
その他有価証券評価差額金	△73	△116
為替換算調整勘定	△34	△22
退職給付に係る調整額	△4	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
四半期包括利益	766	715
(内 訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	767	701
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	13

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	前第2四半期 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	当第2四半期 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	492	1,295
投資活動によるキャッシュ・フロー	△308	△120
財務活動によるキャッシュ・フロー	△281	△240
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	△20
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△109	915
現金及び現金同等物の期首残高	3,403	4,307
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	128
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,293	5,351



※四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益の値を表示しております。

当社グループの業績は国内製造業の設備投資と生産活動に依拠しておりますが、国内製造業は少子高齢化に伴う国内市場縮小を見越し、地産地消の考えに基づいて海外への生産移管をますます加速していることから、この変化への対応が最も重要な経営課題となっております。

当社グループは、2018年度より中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2020」を下記のとおり策定し、経営課題の解決と経営目標の達成に全社一丸となって取り組んでまいります。

戦略ビジョン2020

2018年度～2020年度

ビジョン

リックスは、メーカー商社のビジネスモデルを更に進化させ、より専門的なニッチ分野で、開発・メンテナンス等のメーカー機能をアップさせながら、新製品開発・新事業開発・新市場開発を推進し、新しい高付加価値を創り出します。その高付加価値を、各々の業界分野のナンバーワン顧客企業に、適時にまた安定して、世界中どこにでも、提供できるグローバルニッチトップの開発型企業集団を目指します。

目標

経常利益(連結)
30億円
の達成

方針

1. メーカー商社のビジネスモデルの更なる進化

- ① 開発機能の強化(製品、商品、市場)
- ② 顧客接点でのPDCAのスピードUP
- ③ メンテナンス機能・品質保証機能の強化

2. グローバル展開の加速

- ① 自社・ブランド商品の世界販売加速
- ② グローバルニッチトップ商品の開発強化
- ③ 中国・北米・欧州の事業強化

3. リックスグループとしての協業強化

- ① グループにて戦略の統一性
- ② 事業機能集約による最適化・オンリーワン化
- ③ 統括機能の強化(各社GNTを目指す)

4. 人と組織の能力向上

- ① 人事・教育制度の根本的な見直し
- ② 営業支援システムの刷新
- ③ CSR強化

ドローンを活用した事業を始めます

ドローン関連のベンチャー企業である、(株)アイ ロボティクス殿と協業で、ドローンを活用した設備点検、計測、物理作業の一貫サービスに取り組みます。

『マイクロドローンによる狭隘部ソリューション発表会』を開催

日時：2019年7月29日

場所：東京都千代田区大手町二丁目3番2 大手町プレイス ウェストタワー地下2階

(株)アイ ロボティクス殿と協業で、マイクロドローンによる「狭隘部ソリューション説明会」を実施し、多数の参加を頂きました。



マイクロドローン

顧客密着営業の促進を目的とした営業拠点を展開しました

福山営業所(広島県)、北上出張所(岩手県)を開設しました。

ターゲット顧客への密着営業を実践するための拠点展開を実行します。



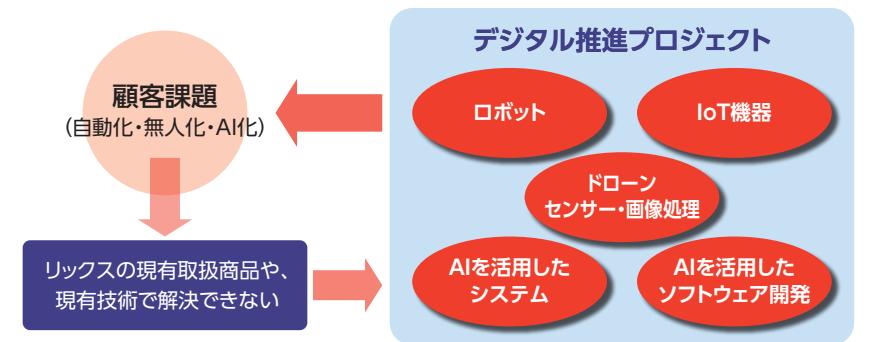
福山営業所



北上出張所

デジタル推進プロジェクトを発足しました

今後、ますます増加すると推測される分野(自動化・無人化・AI化)に対応する新事業の立ち上げを目指し、現状のリックスではできないことを、パートナーとの協業や研究開発(設備投資)、またはM&Aの検討など、積極的且つスピーディーに推進することを目的とし、発足しました。



▶ 海外ネットワーク

(2019年10月1日現在)



▶ 事業所

(2019年10月1日現在)

信頼と情報を支えるネットワーク網

先進技術、膨大なノウハウ、鋭敏な感性、そしてサービスも含めた高信頼性。これらは、全国に張り巡らされたネットワークをベースに、きめ細かなコンサルティング・セールスを展開することによって獲得してきました。ユーザーとともに歩むメーカー商社リックスは、なによりもお客様との質の高い、多くの接点を大切にしています。

本社	★管理本部、企画本部、事業開発本部、海外事業本部
営業本部	■営業本部
営業所	●自動車事業部 豊田営業所、西尾営業所 ●鉄鋼事業部 鹿嶋営業所、千葉営業所、君津営業所、東海営業所、和歌山営業所 ●東部営業部 苫小牧営業所、仙台営業所、宇都宮営業所、埼玉営業所、東京営業所、西東京営業所、横浜営業所、平塚営業所、富士営業所、名古屋営業所、北陸営業所、豊橋営業所、四日市営業所 ●西部営業部 滋賀営業所、大阪営業所、加古川営業所、倉敷営業所、広島営業所、福山営業所、周南営業所、四国営業所、北九州営業所、福岡営業所、長崎営業所、大分営業所、熊本営業所、鹿児島営業所
工場	■生産本部
研究・開発所	▲技術開発センター ▲中部テクニカルセンター ▲横浜事業所 ダンフォースGr・アクア膜Gr



▶ 会社概要

(2019年9月30日現在)

- 商号 リックス株式会社
- 英文社名 RIX CORPORATION
- 創業 明治40年(1907年)10月
- 設立 昭和39年(1964年)5月1日
- 資本金 8億2,790万円
- 従業員 413名(連結664名)
- 主要な事業内容 高圧液圧応用機器、精密計測・検査機器等の製造販売

▶ 取締役および監査等委員である取締役

(2019年9月30日現在)

代表取締役社長 安井 卓	取締役 伊佐 清人
取締役副社長 柿森 英明	取締役 田原 俊二
専務取締役 川久保 昇	取締役(常勤監査等委員) 坂本 克彦
常務取締役 苅田 透	取締役(監査等委員) 小西 正純(*)
常務取締役 芹川 康介	取締役(監査等委員) 武藤 靖(*)
取締役 橋本 忠	取締役 植松 功(*)
取締役 江頭 裕明	
取締役 多々良 浩昭	

(*) 社外取締役

▶ 株式の状況

(2019年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 27,600,000株
- 発行済株式の総数 8,640,000株
- 株主数 6,143名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
NOK株式会社	1,167	14.27
安井玄一郎	404	4.95
リック取引先持株会	392	4.80
株式会社西日本シティ銀行	382	4.68
リック従業員持株会	228	2.80
安井龍之助	218	2.67
園田和佳子	171	2.09
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	169	2.07
山田貴広	166	2.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	163	2.00

注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 当社は自己株式457千株を保有しております。

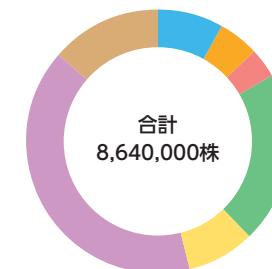
▶ 株式分布状況

(2019年9月30日現在)

所有者別株式分布状況

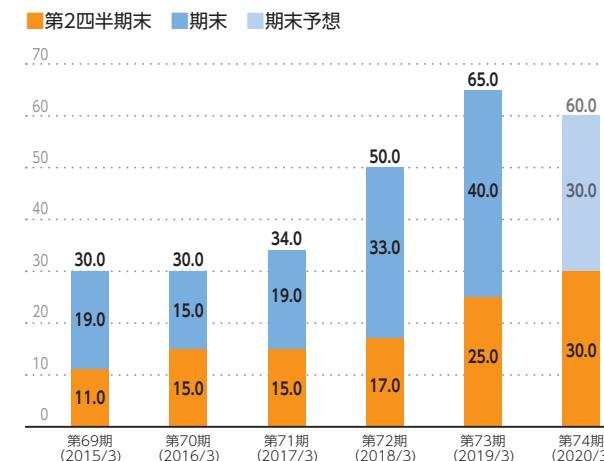


所有株数別株式分布状況



▶ 1株当たり配当金の推移

(単位:円)



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

配当金受領 期末配当金 3月31日
株主確定日 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人
および特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

株式に関する各種手続の申込先について

- ・住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求、配当金受取方法の指定等は、お取引口座のある証券会社に申し出てください。
- ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
- ・未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。

同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法 電子公告により行います。
公告掲載
URL <https://www.rix.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
福岡証券取引所

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに当社株式への投資の魅力を高めていただくため、株主優待制度を実施しています。

- 割当基準日 3月31日
- 優待内容
 - 100株以上300株未満所有の株主様
⇒ クオカード1,000円分
 - 300株以上500株未満所有の株主様
⇒ クオカード2,000円分
 - 500株以上1,000株未満所有の株主様
⇒ クオカード3,000円分
 - 1,000株以上10,000株未満所有の株主様
⇒ クオカード4,000円分
 - 10,000株以上所有の株主様
⇒ クオカード10,000円分

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご活用ください。

<https://www.rix.co.jp/>

リックス株式会社

検索 



 リックス株式会社

〒812-8672
福岡市博多区山王一丁目15番15号
TEL (092) 472-7311

 UD
FONT

 ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
www.fsc.org FSC® C022915

 VEGETABLE
OIL INK

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷しています。